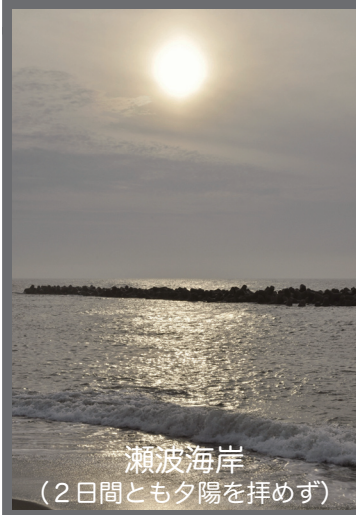


清友

No. 5
2009年11月



瀬波海岸
(2日間とも夕陽を拝めず)

東京清掃労働組合退職者会

〒102-0072 千代田区飯田橋3-9-3 SKプラザ4F

TEL 03 (3237) 9995 FAX 03 (3237) 4541



雲洞庵の赤門



弥彦神社神殿



清友会旅行

楽しく元気に 秋と美味満喫

11月9日から11日の
2泊3日、87歳〜60歳・
平均年齢？歳の参加者
26人で、「清友会」親睦
旅行に行ってきました。

1日目は直江兼続ゆ
かりの古刹雲洞庵、2日
目は奇岩・絶壁が続く日
本百景笹川流れと見事
な枝振りの念珠の松、3
日目は菊まつり開催中
の弥彦神社と、織りなす
赤と黄、松の緑と碧い
海、羽越の秋の美しさを
満喫、新潟・村上の三面
川では、河を遡上する天
然の鮭を観ることもで
きました。

夜は、瀬波温泉「大観

荘せなみの
湯」の名湯
で肌もすべ
すべ、宴会
ではもちろ
ん美声豊か
にカラオケ
大会。時間
制限がなけ
ればどうな
るのかと、
幹事が心配
するほど元
気に盛り上
がりました。

瀬波温泉は夕陽の美しさが
有名ですが、雲にさえぎられ、
3日目に予定していた弥彦の
紅葉谷散策も、雨天のため中
止したことは残念でしたが、
村上地方名産の鮭づくしをは
じめ、秋の味覚を堪能、事故
も無く、全員無事に、楽しい
3日間を過ごしました。

帰りの車中では、早くも来
年はどこにしようかの声があ
がっています。来年は、今回
参加できなかった方はもちろ
ん、会員拡大による新規参加
者もまじえて、楽しみたいと
思います。



熱唱する最長老
石川さん



2日目の乾杯音頭
渡辺副会長



1日目の乾杯音頭
小泉会長

現・退一致のもと、 高齢者の要求実現 へ闘いの強化を

自治体退都本部 第20回総会

自治退東京都本部第20回定期総会



挨拶する山本会長

10月30日、都庁の都庁職大
会議室で自治体退職者会都本
部第20回定期総会が開かれ、
清掃から小泉会長、渡辺副会
長、戸枝会計が参加しました。

自治退東京22年度運動方針
の柱は、①年金制度改悪を許
さず、画一的年金一元化に反
対、②安心・安全・信頼ので
きる医療制度の確立、③介護
保険の改善、④不正税制を
正し、消費税増税に反対、⑤
平和・民主主義・憲法改悪阻止、
参議院選勝利、⑥組織強化と
自主財政確立で、これらの課
題を現・退一致で進めること
が、基本スタンスです。

都庁退連合 第7回総会

東京都庁退職者連合会



挨拶する村田会長

東京都庁職員退職者連合会
は、11月6日、都庁職大会議

また、組織財政検討
委員会の答申を経て、
「役員就業規程」の改
正が提案されました。
(1)常駐役員(事務局長・

事務局長次長・会計)の常駐勤
務手当は1日5千円を4千円
に引下げる、(2)役員等の費
用弁償を1日2千5百円から
2千円に引下げる、(3)出張旅
費は、従来の「自治労都本部
に準ずる」を「関東甲地域内
と隣接地への出張は、普通特
急料金を支払い、新幹線特急
料金は含まない」にするとい
うものでした。

この提案に対し、小泉会長



から「全国との連携が大事だ
が、改正役員就業規程では、
関東甲以外の活動に支障が出
る。」と意見し、執行部より「関
東甲より遠い地域への出張は、
実費主義を原則に対応する」
等の回答がありました。

今年の総会で山本会長が勇
退し、町田の浅沼氏を新会長
に選出、都庁部会選出副会長
に主税の花輪氏、会計に労働
の佐藤氏が選出されました。

室で第7回定期総会を開催し、
清掃から庄司事務局長、岩渕
会計監査、山崎幹事、古口幹事、
渡辺幹事が参加しました。

総会は、自治退都本部の活
動方針を踏まえ、現・退一致
の基本スタンスのもと、取組
みを強化すること、特に会員
拡大へ向けて取り組むことを
確認しました。

今年の総会で村田会長が勇
退し、花輪氏を新会長に選出、
副会長は留任、自治退都本部



退職者会「当面の重点課題」と新政権への要求

鳩山政権は、予算見積もりの政治家主導や無駄を洗い出す「事業仕分け」を行うなど、自民党長期政権の膿を出す政治変革に着手しています。新政権による政策との関係で私たちが注目すべき点について、上部団体の地方公務員退職者協議会（地公退）は、次のように整理し考え方を明らかにしました。

医療制度

後期高齢者医療制度の廃止と、それに代わる安定的で安心できる新制度づくりを求めてきました。新政権は「検討会を設置して年齢による区分を作らない新制度を設計し、二〇一一年度中に現制度廃止・新制度発足の関連法案成立、二〇一三年度新制度移行、それまでの間は現行制度の経過措置維持・手直し」との考え方を示しています。一定の時間をかけて被保険者・保険者等の混乱を避けながら、新制度づくりを目指すものであり、責任ある対処方法です。過去に蓄積されてきた豊富な

知見や選択肢を生かすことが求められます。

年金制度

年金は、長い経過と多くの関係者がいる制度です。改革は、合理性と合意形成に基づくことと、雇用主負担を維持すべきことを主張してきました。

新政権から、年金政策の体系的考え方も、年金制度に関する作業方向・日程も示されています。慎重な検討が必要です。

年金業務を担う組織について新政権は、前政権が決めた「社会保険庁から日本年金機構への移行」に否定的でしたが、

二〇一〇年一月に予定通り移行すると表明しています。

これにより、社会保険事務所は年金事務所に変わりますが、移行にあたり、約一五〇〇人の実務エキスパートを雇用保険失業給付もなく失業させる分限免職方針を改めるべきです。

新政府税調

税制はかつて、公開テーマエの政府税調と密室で決定する自民党税調の二元方式で決められていましたが、新政権は、意思決定の透明性を重視し、政府税調に一元化するとしています。

新税調は10月8日に発足し、首相は7項目を諮問しました。
① マニフェスト税制改正項目の

詳細検討、② 租税特別措置見直しの具体的方策、③ 給付付税額控除を含む個人所得税控除のあり方検討、④ CO2削減の観点からエネルギー課税、健康の観点から酒税・たばこ税の検討、⑤ 地域主権・地方再生の観点から地方税制の検討、⑥ 世界規模の課題に対応する法人・国際課税の検討、⑦ 税制抜本改革の具体的ビジョンです。

地公退は、②の租税特別措置見直し実現、③の個人所得税控除は、年金所得控除還元・介護費用控除拡充を主張してきました。これらが透明な論議の中で実現するよう求めます。

また、消費税を含む負担のあり方について、事実に基づく率直な政府提起と丁寧な合意形成が求められます。

12月10日に退職者会忘年会

今年も12月10日に忘年会を開催します。会場は小石川後楽園内の施設です。もしかしたら、最後の紅葉を楽しめるかもしれません。

- **日時**
12月10日 (木)
午後1時30分
(集合：午後1時)
- **会場**
小石川後楽園内
涵徳亭 (かんとくてい)
- **会費** 3千円

※参加申込みは、11月30日までに連絡ください。

勝ち取るら国鉄労働者 7047名の解雇撤回！ つくりだそう戦争と 貧困のない社会を！

10・25 団結まつり

10月25日、23回目の団結まつりが木場公園で開催されました。

今回の団結まつりの主な目的は、政治解決の大きな局面を迎えた一〇四七名問題の解決と、政権交代をきっかけに戦争と貧困のない社会を創り出すことでした。

あいにくの雨天にもかかわらず、北海道・九州から上京した国労闘争団と多くの協力者の努力により、まつりは大成功、会場には2万人が参加しました。

東京清掃は、例年同様、本部・青年部・女性部・各地連と8つ出店、前日からのまつり準備、ごみ回収、綱川女性

部長による「集会宣言」提案など、運営実務を含め、まつりの成功のために活躍しました。

退職者会は、庄司さん（お孫さん2人を連れて）、戸枝さん、岩淵さん、菅原さんの参加でした。（把握して

いない参加者がいた場合はごめんなさい）

まつりは、東京清掃前委員長・星野国鉄闘争共闘会議副議長による「背水の陣を敷き、年度内には勝利的解決を勝ち取ろう」という決意を確認し、来春の解決

へ向けて団結ガンバローでとじました。



第一地連



第二地連



第三地連



第四地連



第五地連



青年部



女性部



庄司さんとお孫さん